

Table with 6 columns: 事務事業名, 会計名称, 総合計画での位置づけ, 事業の性格, 事業の対象, 事業の目的, 改善策の具体的な取り組み(当初), 改善策の具体的な取り組み(二次評価後). Content includes 'コミュニティ助成事業', '一般会計', '計画の推進', '内部管理事務', '法定事務', '法令根拠等', 'コミュニティ活動助成事業', '平成 21 年度', '組合における生活環境美化推進事業...', 'コミュニティ活動助成の主旨と内容の浸透を図る.', '区長会を通じて、コミュニティ活動助成の主旨を説明するとともに、毎年交代する組合長に対して説明をお願いする.'

Table with 2 main sections: '事業費及び財源内訳 (千円)' and '事業活動の実績 (活動指標)'. The first section has columns for '項目', '20 年度決算', '21 年度予算', '9月末の執行状況', '21 年度決算'. The second section has columns for '項目', '単位', '20 年度実績', '21 年度予定', '9月末の実績', '21 年度実績'. Data includes '直接事業費', '人件費', '合計', '国庫支出金', '県支出金', '地方債', 'その他', '一般財源', '人工数', '人件費単価', '補助事業人件費', '人件費(x - )'.

Table with 2 columns: '向こう5年間の直接事業費の推移 (千円)' and '5年間の合計'. Rows for '22 年度', '23 年度', '24 年度', '25 年度', '26 年度', and '5年間の合計' with values 4,000, 4,000, 4,000, 4,000, 4,000, 20,000.

Table with 2 main columns: '成果指標' and '指標設定の考え方'. '成果指標' includes 'コミュニティ活動のべ参加者数'. '指標設定の考え方' includes '参加者が増加すれば、活力あるコミュニティ活動につながる.'. A secondary table shows '区分年度' (20, 21, 22 年度) and '目標 年度' with values 18055, 17487, 20000, 20000, 20000.

今年度の課題への対応状況(途中経過) 21年度は新型インフルエンザの影響で参加人員が減ってしまったが、主旨を浸透させ目標達成に努める。

Large table for '事業の自己評価(担当者)' and '一次評価(所属長)'. It contains multiple rows for '目的の妥当性', '市民ニーズへの対応', '市の関与の妥当性', '事業の効果', '成果向上の可能性', '施策への貢献度', '手段の最適性', 'コスト効率', '受益者負担の適正'. Each row includes a score (e.g., 5, 4, 3, 2, 1) and a grade (A, B, C, D, E). A large arrow points from the '指標設定の考え方' table to this section. A note on the right says '毎年組合長が変わるので、組合によって温度差がある。' and another note at the bottom says 'コミュニティ助成事業の周知を図り、効率を高める必要がある。'

事務事業名	コミュニティ助成事業	予算事業名		担当課	総務課
会計名称	一般会計	予算科目	2 款 1 項 1 目	所属長名	安部 雅明
総合計画での位置づけ	計画の推進			担当責任者名(記入者)	安部 雅明
				電話番号(内線)	
事業の性格	内部管理事務	法定事務	法令根拠等		
事業の対象	コミュニティ活動助成事業		実施期間	【開始年度】	平成 21 年度
				【終了年度】	平成 年度(予定) 設定なし
事業の目的	活力あふれる地域づくりを推進するため、各行政区の組合が地域で行うコミュニティ事業に対する支援。		事業の内容	組合における生活環境美化推進事業、ふれあい、レクリエーション事業、伝統芸能行事の復活継承事業を対象に予算の範囲内で、助成金を交付する。	
改善策の具体的な取り組み(当初)	コミュニティ活動助成の主旨と内容の浸透を図る。		改善策の具体的な取り組み(二次評価後)	区長会を通じて、コミュニティ活動助成の主旨を説明するとともに、毎年交代する組合長に対して説明をお願いする。	

(担当責任者) 自己評価	妥当性	目的の妥当性	5	B	B	4	目的の妥当性	妥当性	(所属長) 一次評価	
		市民ニーズへの対応	3				4			市民ニーズへの対応
		市の関与の妥当性	4				3			市の関与の妥当性
	有効性	事業の効果	3	C		3	事業の効果	有効性		
		成果向上の可能性	3			3	成果向上の可能性			
		施策への貢献度	4			3	施策への貢献度			
	効率性	手段の最適性	3	C		3	手段の最適性	効率性		
		コスト効率	3			3	コスト効率			
		受益者負担の適正	3			3	受益者負担の適正			
課題認識	毎年組合長が変わるので、組合によって温度差がある。				コミュニティ助成事業の周知を図り、効率を高めることが必要。					
	自己評価は、担当者が主に事業推進を効率的効果的に進めたかどうかを評価したもの。 一次評価は、担当者の自己評価を踏まえて施策の推進を念頭に置き、所属長が評価したもの。									

施策を踏まえた判断	二次評価	一次評価結果より以下の点について良好と評価し、更なる事業推進を求める。	指摘事項を踏まえ、事務改善、事業推進に努め、今年度の事務事業評価シートに反映させること。  一次評価をやり直し、 月 日 までに事務局へ提出すること。  外部評価委員会で評価する。 答申期限： 月 日
		一次評価結果のとおり事業継続と判断する。	
		一次評価結果のとおり事業継続と判断するが、以下の課題を新たに追加する。	
		一次評価は以下の点で問題がある又は判断されるため、一次評価の見直しを求める。	
		住民サービスに直結する主要事業のため、評価そのものを外部評価委員会に諮ることとする。	
		一次評価結果のとおり事業縮小と判断し、外部評価委員会に諮ることとする。	
		一次評価結果のとおり事業廃止と判断し、外部評価委員会に諮ることとする。	

外部評価委員会の判断	外部評価	活動がマンネリ化しないように、アンケート等を実施し、住民の意見を事業に反映する検討も必要である。
------------	------	--